

地域医療支援病院の实地検査実施状況

《経過》

- 令和 4 年度病院新增設部会において实地検査を強化・重点化することで地域医療支援病院の活動状況を把握し、必要に応じて適切な指導を行っていく方針決定がされた。

《令和 5 年度实地検査の実施状況》

【実施期間】

- 令和 5 年 8 月～9 月

【対象施設数】

- 10 施設
 - ・ 平成 27 年度及び 28 年度以降实地検査を実施していなかった 10 施設

【重点検査事項（令和 4 年度実績）】

- 紹介・逆紹介件数のカウント方法
- 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実施状況
- 委員会の開催状況

《実施結果》

○ 文書指導（3 施設）

- ・ 地域の医療従事者に対する研修の実施に係る委員会の未設置、研修プログラムの未作成。
- ・ 地域の医療従事者に対する研修の実施に係る委員会の未開催及び研修計画の未確定。
- ・ 地域医療支援病院の業務遂行について審議する委員会の未開催。
- ➡ いずれも改善計画の提出により改善を確認済み。

○ 口頭指導

- ・ 紹介・逆紹介件数への算入が適当ではない事例が散見された。（単なるお礼状や報告、検診を主とする医療機関への逆紹介など）
- ・ 地域の医療従事者への研修について、対象人数に福祉職（ケアマネジャーなど）が含まれている事例が散見された。
- ・ 研修の実施主体が当該病院であることが不明確な研修が散見された。
- ・ 委員会の開催について、地域医療支援病院の業務報告が中心となっており、外部委員からの発言が少ない事例が散見された。
- ・ 研修及び委員会の開催回数について、新型コロナウイルス感染症の影響により基準回数に満たないものがあつたが、要件緩和の年限が令和 4 年度実績までであることを注意喚起した。

《实地検査による効果》

- ◆ 業務報告の書面確認だけでは把握できない運営状況の聞き取りができる。
- ◆ 承認取得後の病院担当者の交代等により、あいまいな運用となっているなどの現状把握ができる。



次年度以降も、計画的に实地検査を実施し、地域医療支援病院の活動状況の把握と質の担保を図る。